

# SUKE3

救助  
援助  
補助

格別  
格段  
格調

# KAKU3

## 事業案内編

御社の開発の次の一步は、まず工業技術センターへ  
技術支援のハブ機関を目指して

茨城県工業技術センター長 藤沼 良夫

企業の皆様におかれましては、この厳しい状況を打破するため、日夜、技術に磨きをかけ、新製品開発に取り組まれていることと存じますが、今後の日本経済については、厳しい見通しが大方のようです。

私はこういう時こそ経営はその基本に戻って「攻めの経営」に徹することだと思っています。その攻めですが、座して待つのでなく、できることを何でもやってみる、例えば生産現場をスリム化する、新製品開発を手がける、お客さんへの提案を徹底してやってみる、要は次のビジネスのタネを蒔いておくことが大切です。

よく不況になると、「集中と選択」と言われますが、そのためには、とにかく種を蒔いてみる、いろんなことをやってみる、その中から初めて「集中すべきことは何か、選択すべきことは何かを」を決定することです。

また、こういう厳しい時だからこそ、工業技術センターは皆様方に本当にお役に立てるのか、その真価が問われていると考えます。

このような観点から本年度は、第一には「御

社の開発の次の一步には、まず工業技術センターへ」のスローガンのもとに、技術支援のハブ機関を目指して、皆様方には気軽にご相談いただけるようサービスの質の充実に努めてまいります。

第二には、「企業ニーズへの徹底」で全業務の70%をこれに当てます。具体的には600社への御用聞き及び業界との懇談会などを通して、依頼試験・受託研究・共同研究・人材育成などでご支援します。

第三には、「業界への提案活動」で全業務の30%をこれに当てます。企業・業界・地域に対して、技術開発・ビジネスモデル・企業連携などを提案していきます。Mg,化学プラント劣化診断技術に次ぐプロジェクトとして、ロボット・メンテナンス・環境技術分野でのビジネスを立ち上げます。また地域イノベーション・地域資源・JST等国の競争的資金獲得に向けて、未来に花を咲かせるタネを蒔いていきます。

これからも迅速・頼りになる・技術の幅が広いをモットーに事業を展開して参りますので、皆様の積極的なご活用をお願い申し上げます。

# ■ご利用いただけるサービス

はじめてのお問い合わせは… 029-293-7212(代)へ

## ●技術相談

皆様の日常的な生産活動における諸問題から競争的資金獲得、産学連携、将来へ向けた技術開発など、あらゆるご相談を、電話・来所・メールでお受けします。

この他、他機関のご紹介など幅広い対応をしておりますので、お気軽にお申し付けください。相談先は4ページ、5ページをご覧ください。

## ●依頼試験・設備利用

生産活動に伴うトラブル対象、困難な材料の分析、試作品の評価などを有料で行っております。また、分析機器や測定機器を有料で開放しておりますので、御社の日常的な課題解決にご活用ください。詳細な項目についてはWEBサイトをご覧ください。

茨城県工業技術センター → 検索 <http://www.kougise.pref.ibaraki.jp/>

ご利用の日時、機器、試験内容などについては、あらかじめお問い合わせ下さい。

必要な書類 依頼試験には「試験・分析・検査申請書」が必要です。(申請書はWEBサイトに掲載)

設備使用には「設備使用申請書」と「誓約書」が必要です。( " )

ご利用時間午前9時から午後5時までとなります(土・日・祝祭日は除く)。

利用料金等 依頼試験手数料金、設備使用料金は、現金により前納していただきます。詳しくは担当部門へご連絡下さい。連絡先は4ページ、5ページをご覧ください。

### ご利用の多い試験一覧

	項目	内容	主な対応部門	担当
工業関連	精密測定	寸法・角度・真円度を測定	技術融合	青木, 谷萩, 山下
	電磁波測定	電子機器から出る電磁波の測定	技術基盤	平野, 川又, 若生,
	電気計測	電流・電圧の測定		
	材料強度(引張, 曲げ)	材料の強度試験	先端材料	小松崎, 磯山, 早乙女
	定性・定量分析	材料の元素組成分析	先端技術	浅野(俊), 加藤, 石川(洋), 石渡
	耐食試験	材料の腐食性試験		
	膜厚試験	めっき・塗膜等の厚さ測定	先端技術	飯村, 加藤, 石川(洋)
食品関連	金属組織(電子顕微鏡)	微細な表面形状の観察		
	耐候・耐光試験	紫外線等の光による劣化試験	産業連携室	寺門
	細菌検査	食品中の細菌数の測定	食品バイオ 地場食品	田畑, 武田
	一般分析(定量, 定性)	食品中の成分分析		中川, 宇津野,
細菌検査	食品中の大腸菌等の測定	坂井, 久保		
測定試験(食品フィルム等)	フィルムの酸素透過率等の測定			
繊維 プラスチック 関連	プラスチック関係試験	強度試験・材質分析試験など	素材開発 紬技術	磯, 大高, 高力
	化学分析	繊維, 染料, 加工剤等の化学分析		磯, 中野, 本庄, 篠塚
	物理的性状試験	繊維, 高分子材料の物理的性状試験		高力, 中野, 本庄, 篠塚
	染色堅牢度試験	色落ち・変色・色移り等の試験	紬技術	中野, 本庄
	幅出し整理	織物の幅を一定に整える加工		小林, 石川
設計図案作成	紬織物の縞模様設計図面作成			
窯業関連	蛍光X線分析試験	窯業原料の化学組成を分析	材料技術	吉田
	耐薬品性試験	薬品への耐久性を検査		
	摩耗試験	窯業製品のすり減りを検査		
	強度試験	窯業製品の曲げ・圧縮を検査		仁平, 吉田
	外圧試験	陶管の圧縮試験	工芸技術	常世田, 吉田
	吸水試験	粘土などの吸水性を検査		久野, 吉田, 常世田
	焼成試験	釉調や発色等の確認試験		

### ご利用の多い設備一覧

	機器	内容	主な対応部門	担当
工業関連	インストロン万能試験機	材料の引張・圧縮・曲げ試験	技術材料	小松崎, 磯山, 早乙女
	電界強度測定システム	電子機器から出る電磁波の測定	技術基盤	平野, 川又
	蛍光X線膜厚計	めっきの厚さ測定	先端技術	石川(洋), 加藤
	微小蛍光X線分析装置	材料の元素組成分析		
食品関連	高温高圧調理滅菌機	レトルト食品の試作など	地場食品	宇津野
繊維・プラス チック関連	万能試験機	強伸度, 曲げ, 圧縮強度等の測定	素材開発 紬技術	大高, 磯, 高力, 篠塚
	電子顕微鏡	試料表面の拡大観察		本庄, 中野
窯業関連	真空土練機	空気を抜いて粘土を練る	工芸技術	常世田, 久野
	ポットミル	釉を播る機器		
	セラローラー	粘土を板状にのばす機器		

## ●受託研究

企業固有の問題解決に、当センター職員が有料で取り組みます。

募集期間 : 随時  
研究期間 : 当該年度内  
公開について : 非公開も可能  
費用 : 申請者負担



### ●申請から採否決定までの流れ●

お問い合わせを頂く  
↓  
担当による具体的な内容のヒアリング  
↓  
正式な申請を頂く  
申請にもとづき、委託者と協議、検討の上、計画・見積を作成  
↓  
当センター内での審査  
↓  
採否決定

## ●共同研究

### ・企業提案型

企業単独では解決が難しい研究テーマを当センターと一緒に研究します。

### ・センター提案型

当センターで保有する研究シーズに対して参加者を募り、一緒に研究を進めます。

募集期間 : 原則4月中  
研究期間 : 当該年度内  
公開について : 原則公開  
費用 : 相互負担



### ●申請から採否決定までの流れ●

お問い合わせを頂く  
↓  
担当による具体的な内容のヒアリング  
↓  
正式な申請を頂く  
申請にもとづき、委託者と協議、検討の上、計画を作成  
↓  
当センター内での審査  
↓  
採否決定

## ●情報提供

### 《茨城県工業技術センターニュースの配信》

以下のことを目的に、月2回程度（不定期）メール配信します。

- ・工業技術センターの事業や工業技術センターに集まる情報の中から、皆様の研究開発や課題解決に有用と思われる情報を、リアルタイムに提供
- ・企業の代表者の方だけでなく、技術担当者の皆様にも役立つ情報を提供
- ・多分野に対応している工業技術センターの特徴を生かし、普段はあまり耳にすることのない分野の情報も提供

登録のご希望は…	電話 029-293-7213 (産業連携室)	氏名、会社名、所属、電子メールアドレスをお知らせ下さい。
	ファックス 029-293-8029	
	電子メール renkei2@kougise.pref.ibaraki.jp	

多くのみなさまに情報をお届けできるよう、各種メディアでの提供を進めております。

- ・技術情報誌、成果集の発行
- ・webサイトの更新
- ・電子メールによるニュース配信
- ・新聞、テレビ・ラジオ出演
- ・各種イベントへの参加など

## ●人材育成

### ・結城紬後継者育成 (繊維工業指導所 紬技術部門 0296-33-4154) 募集時期: 1~2月ごろ

紬織物の糊付け、整経等の下ごしらえから、製織まで一貫したものの作りが出来る後継者を育成しています。

### ・笠間焼後継者育成 (窯業指導所 工芸技術部門 0296-72-0316) 募集時期: 11月ごろ

笠間焼にかかわる技術(工芸陶磁器製造技術全般、笠間焼商品の企画開発力強化、原料調整、釉薬配合、焼成など)の研修により後継者を育成しています。

### ・生産技術者育成

#### ・微生物管理技術研修 (地場食品部門 029-293-7497)

食品の衛生管理に必要な微生物の測定技術等の研修をします。

#### ・清酒製造研修 (食品バイオ部門 029-293-8576)

清酒の製造に必要な各工程の生産技術等の研修をします。

○上記以外の人材研修についてはご相談下さい。



研修終了後、県内企業への就業が原則となっております。

## ■困ったときの相談先

技術分野ごとに対応した部門体制をとっております。部門活動として、重点研究や、今後社会に提案していく研究テーマの検討などを進めていきます。

<p><b>センター長</b></p>	<p>藤沼 良夫</p>	<p>工業技術センター総括</p>
<p><b>副センター長</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務系副センター長</li> <li>・工業系副センター長</li> <li>・地場系副センター長</li> </ul>	<p>中山 芳樹 事務系統括 鴨志田 敏行 工業系部門統括 齋藤 均 食品系、繊維工業指導所、窯業指導所統括</p>
<p><b>企画管理部</b> 029-293-7212(代) 企画管理部長 中山 芳樹 (兼務)</p>	<p>工業技術センター本所の庶務経理を担っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主査 宇留野辰生 庁舎維持管理等</li> <li>・係長 高橋 貴子 給与、福利厚生等</li> </ul>	
<p><b>産業連携室</b> 029-293-7213 室長 大力 賢次</p>	<p>工業技術センター全体の企画運営、情報提供や取りまとめ、木工、デザインを行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任研究員 吉浦 貴紀 経常研究取りまとめ、工業技術研究会事務局</li> <li>・主任研究員 寺門 秀人 人材研修取りまとめ、職員研修取りまとめ、木工</li> <li>・主任研究員 浅野 健治 重点研究取りまとめ、研究評価委員会取りまとめ</li> <li>・主任研究員 尾形 尚子 受託・共同研究取りまとめ、情報誌発行、web サイト更新、デザイン</li> <li>・嘱託 長江 弘允 ものづくり産業活性化プロジェクト事業、研究報告書、成果集</li> </ul>	
<p><b>機械系</b> <b>技術融合部門</b> 029-293-7482 部門長 鴨志田 武</p>	<p>計測・制御技術、画像処理、CAEによる流体・構造解析などの機械システム系の技術に対応し、企業ニーズに基づく共同研究や受託研究を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任 大城 靖彦 CAD・CAE・CAE、人間工学</li> <li>・技師 青木 邦知 化学プラント劣化診断技術開発、計測・制御関連の共同・受託研究、3次元測定</li> <li>・技師 谷萩雄一朗 流体解析等のCAE解析、材料試験関係</li> <li>・技師 山下 宏 共同・受託研究、依頼試験・設備使用</li> <li>・技師 竹囲 年延 化学プラント劣化診断技術開発、ロボット関連支援</li> </ul>	
<p><b>電気系</b> <b>技術基盤部門</b> 029-293-8575 部門長 富長 博</p>	<p>電磁波測定、センサ情報処理、マイコン制御などが主な対応分野です。各部門員の福祉機器開発、自動化技術開発などの経験を駆使して、中小企業の製品化・自動化を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任研究員 平野 聡 EMC[電氣的ノイズへの対応]に関わる依頼試験や設備使用等</li> <li>・主任 若生 進一 電子回路(アナログ・デジタル)、マイコン制御</li> <li>・主任 小泉 洋人 計測・制御関連の共同・受託研究</li> <li>・主任 川又 正明 EMC[電氣的ノイズへの対応]に関わる依頼試験や設備使用等</li> </ul>	
<p><b>金属系</b> <b>先端材料部門</b> 029-293-7492 部門長 小石川 勝男</p>	<p>茨城マグネシウムプロジェクト事業第二ステージにより、オリジナル技術開発、オリジナル製品開発に取り組み「マグネシウムの茨城」のブランド化を推進いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任 小松崎和久 茨城マグネシウムプロジェクト、マグネシウム合金のプレス成形</li> <li>・技師 磯山 亮 茨城マグネシウムプロジェクト、依頼試験(引張)</li> <li>・技師 早乙女秀丸 茨城マグネシウムプロジェクト、金属材料解析評価、依頼試験</li> <li>・技師 行武栄太郎 茨城マグネシウムプロジェクト、マグネシウム専属研究員</li> </ul>	
<p><b>化学系</b> <b>先端技術部門</b> 029-293-7495 部門長 浅野 俊之</p>	<p>主に材料などの分析評価及び表面処理技術の相談に対応しています。RoHS指令、グリーン調達対応のための分析支援、ナノテクを活用した機能性材料の開発に取り組んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任研究員 飯村 修志 薄膜・コーティング、機能性材料、材料物性評価、成形加工(プラスチック、セラミックス)</li> <li>・技師 加藤 健 分析・評価(蛍光X線分析、FT-IR、ラマン分光分析)</li> <li>・技師 石川 洋明 分析・評価(蛍光X線分析、FT-IR、ラマン分光分析)、表面処理(耐食性試験)</li> <li>・技師 石渡 恭之 分析評価(蛍光X線分析)、環境リスク評価</li> </ul>	

茨城県工業技術センターは、茨城町の本所、結城市にある繊維工業指導所、笠間市にある窯業指導所の3所からなり、10の研究部門を有しております。また、つくばとの連携機関の「いばらきサロン」および、ひたちなかの「デザインセンター」に職員を駐在しております。本所には4つの工業系部門（機械系、金属系、電気系、化学系）と2つの食品系部門（発酵系食品、地場系食品）が、繊維工業指導所には2つの部門（プラスチック&一般繊維、紬織物）、窯業指導所には2つの部門（窯業材料、窯業技術）がそれぞれあります。

<p><b>発酵食品系</b> <b>食品バイオ部門</b> 029-293-7497 部門長 長谷川 裕正</p>	<p>主に酒、納豆、有用微生物などの開発や支援、酒造の人材研修に対応しています。食品の機能性や有用微生物の分子生物学的解析に関する研究を昨年度に引き続き進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任 武田 文宣 清酒製造技術指導、人材研修</li> <li>・技師 田畑 恵 有用微生物の利用、分子生物学的解析など</li> <li>・技師 岩佐 悟 乳酸菌利用食品の研究開発、食品の機能性研究</li> </ul>
<p><b>加工食品系</b> <b>地場食品部門</b> 029-293-8576 部門長 中川 力夫</p>	<p>菓子、米菓、醤油、味噌、漬物などの加工工程における衛生管理や成分分析等による品質管理などに対応しています。製品の高付加価値化に取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任 宇津野典彦 菓子、米菓、衛生管理、微生物管理研修</li> <li>・技師 坂井 祥平 機能性成分分析、農産加工</li> <li>・技師 久保 雄司 食品成分分析(塩分、窒素分、糖度、有機酸、アミノ酸)</li> </ul>
<p><b>繊維工業指導所</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所長 望月 政夫 繊維工業指導所総括</li> </ul>
<p><b>プラスチック・繊維系</b> <b>素材開発部門</b> 0296-33-4154 部門長 篠塚 雅子</p>	<p>プラスチックと繊維に対応しています。プラスチック製品の高付加価値化や天然繊維の高機能化などを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主査 蛭沢 悦子 庁舎維持管理、給与、福利厚生 他</li> <li>・主任研究員 磯 智昭 高分子材料、分析、成形、竹繊維</li> <li>・主任研究員 大高 理秀 プラスチック複合材の開発、難燃化技術、プラスチック物理的性能評価試験</li> <li>・技師 高力 美智子 繊維製品開発、デザイン、繊維物性試験</li> </ul>
<p><b>紬織物系</b> <b>紬技術部門</b> 0296-33-4154 部門長 望月 政夫 (所長兼務)</p>	<p>結城紬やいしげ結城紬の製品開発や人材研修に対応しています。「結城紬ワークショップ」を、県内小中学校を中心に開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任 本庄 恵美 繊維製品の管理、整理、製造</li> <li>・主任 石川 章弘 紬織物を中心とした地場振興の企画開発</li> <li>・主任 中野 睦子 紬織物の染色、製織、整理</li> <li>・技師 小林 哲也 結城紬、いしげ結城紬の図案、デザイン</li> <li>・嘱託 渡邊 直子 結城紬後継者育成研修の準備及び実習指導</li> </ul>
<p><b>窯業指導所</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所長 鷲野谷 昇 窯業指導所総括</li> </ul>
<p><b>窯業材料系</b> <b>材料技術部門</b> 0296-72-0316 部門長 仁平 敬治</p>	<p>セラミック・石材の研究開発、窯業原料の分析、人材育成（釉薬）に対応しています。セラミック製品の高付加価値化などを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・係長 岡見 八重子 収入、支出、給与、物品、福利厚生、服務その他一般事務</li> <li>・技師 吉田 博和 人材育成研修（釉薬）、窯業原料の分析・評価、依頼試験</li> <li>・嘱託 酒井 直子 釉薬情報データベース、新釉薬・化粧土の開発</li> </ul>
<p><b>窯業技術系</b> <b>工芸技術部門</b> 0296-72-0316 部門長 佐藤 茂</p>	<p>県内陶磁器工業業界の商品開発や人材研修を中心に対応しています。他産地との差別化を狙った製品開発を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任 常世田 茂 素地・原料開発、石膏型担当、いばらきブランドの耐熱製品の開発</li> <li>・技師 久野 亘央 人材育成（成形Ⅰ科・Ⅱ科・Ⅲ科）、成形・焼成技術担当</li> <li>・技師 望月 聡美 地場産業の技術を活用した地域活性化支援、webサイト更新、情報誌発行</li> </ul>
<p><b>茨城県商工労働部</b> <b>いばらきサロン</b> 029-858-6015</p>	<p>つくば地区研究機関・大学などと民間企業との橋渡しを行います。特に、つくば産業フォーラム、つくばのタベ、茨城県研究開発型企業交流協会(IRDA)の事務局などの活動を行っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主任研究員 岡部 弘文 IT、食品等のフォーラム運営及び技術移転、情報提供等</li> <li>・嘱託 蛭田 政宏 環境関連フォーラム運営、コーディネート及び技術相談等</li> </ul>
<p><b>茨城県商工労働部産業技術課</b> <b>デザインセンター</b> 029-264-2205</p>	<p>デザイン相談、デザイン開発支援事業、いばらきデザインセレクションを進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嘱託 平松 茂夫 デザインの力で企業のものづくり、地域の活性化を支援</li> </ul>

# ■工業技術センターが進める提案型業務など

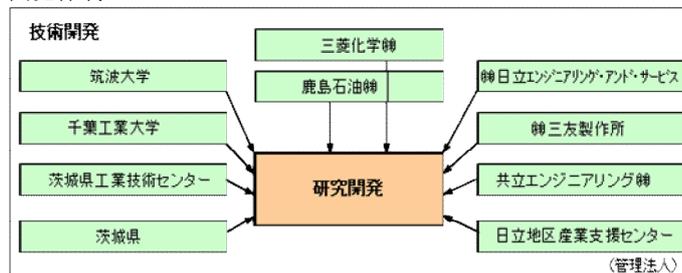
## ●大型プロジェクト

将来、茨城がその分野でリードすることを目指し、プロジェクトの開始から県内企業などとともに連携を組んで開発を進めています。

### ・仮設足場を不要とする遠隔操作式化学プラント配管劣化診断システムの開発 (H20—H21 予定)

化学プラントの配管類の外表面腐食を仮設足場なしで診断できる遠隔操作式で自動的に計測する装置の技術を開発し、プラントの安全性確保を図ります。さらに、保守期間の短縮をはじめとする保守サービスの合理化推進と設備稼働率の改善をはかり、我が国製造業における保守費用の低減と国際競争力の向上に役立てるため取り組みます。

開発体制



### ・茨城マグネシウムプロジェクト 第2ステージ (H19—H21)

「茨城マグネシウムプロジェクト」はH19年度より第2ステージを迎え、この度、茨城マグネシウム連携体のさらなる活動の強化と、民間主導による自立を目的として、連携体企業が中心となり「茨城マグネシウム工業会」が発足しました。

今後は、工業会と連携し、組織の制御によるマグネシウムの成形性の向上やプレス加工の最適条件確立など、茨城オリジナル技術の創出を支援して参ります。

### ・新分野技術開発プロジェクト 「非破壊によるコンクリート劣化診断技術の研究」

高度成長期に集中的に整備された産業施設・社会インフラの耐用年数切れが近づいている中、その延命化が着手されつつあります。そのような情勢下において劣化診断等メンテナンスに関する需要が急激に拡大することは確実な情勢であり、30兆円とも言われるメンテナンス市場にビジネスチャンスが生まれつつあります。

その一方で下請け型企業が自立化し、厳しい競争に打ち勝つためには、技術の高度化とそれを活用し

た新たなビジネスモデルの創出が必要です。そこで、県北地域に集積している優位技術（センシング技術、ロボット化技術、真空技術、鍛造技術、鋳造技術など）の高度化と技術の融合を、工業技術センターが中心となり、H20年度からは、「非破壊によるコンクリート劣化診断技術の研究」について、産学官連携による研究会を組織して新たな技術の開発（F S）による新分野進出を支援します。

## ●重点研究

今後、産業界で必要と思われるちょっと未来の研究に取り組んでいます。

マグネシウム合金板材の塑性変形の向上とプレス成形特性に関する研究 (H18—H20)

マグネシウム合金板材のプレス成形特性を、実測データとシミュレーション解析の活用により評価します。また、超塑性組織と加工特性に関する研究として、マグネシウム合金の結晶組織を微細化することで超塑性現象を発現させ、成形加工性を向上する研究開発を行います。

有用微生物の分子生物学的解析に関する研究 (H18—H20)

テンペ菌の有用菌株の特性を遺伝子レベルで解明することを目的とし、分子生物学的解析を行い、また、酵素遺伝子等を利用した菌株判定法の研究を行います。

画像処理技術の組み込み分野への応用に関する研究 (H19—H20)

セキュリティ等の分野でニーズが高まってきている画像処理及び画像認識技術を汎用機器に実装するための技術について調査研究を行い、それとともに小型の遠隔監視システムの研究開発を行います。

現場・簡易分析手法の研究 (H19—H20)

富栄養化対策に必要な水質測定及び、事故などで流出した際に住民や環境に被害を及ぼす有害物質の現場測定用分析手法を研究します。

県農産品の機能性成分の調査研究 (H19—H23)

県農産品（干し芋、ヒョポファエ、福来みかん）の機能性成分を解明し、機能性のより高くなる加工方法を検討します。

有色素大豆加工に適した納豆菌の開発 (H19—H23)

従来の納豆菌では十分発酵できなかった有色素大豆に適した納豆菌をバイオテクノロジーの手法を用いて検索するとともに、加工条件を検討する。

工業技術センターでは、企業への技術支援業務のほか、「ちょっと未来」を見据えた研究も進めています。また、次の研究テーマの模索や企業サービスの向上を目的とした活動も進めています。

## ● 経常研究

重点研究の成果を具体的な企業ニーズへと展開したり、次のテーマのための調査を行います。

### 経常研究の一例

#### ZigBee を用いたネットワーク活用技術の研究 (H19～H20)

小型低消費電力無線通信規格 ZigBee に関する技術調査で得た知見を基に、具体的な製品展開例を試作し、提案します。

#### 製造条件が保存中の納豆品質変化に及ぼす影響(H20-H22)

製造条件を変えて納豆をつくり、それを保存した場合、経時的に品質がどのように変化していくかを調べます。

#### 結城紬のたて筋やよこ段の解消方法の試験研究 (H20-H21)

結城紬のたて筋やよこ段を出来にくくするための生産技術を試験研究します。

#### 笠間焼伝統釉の研究 (H18-20)

地元原料を基本に、伝統的な釉薬の調合について整理します。企業ニーズに応じてデータ公開を積極的に行います。



このほか、研究報告書や論文の執筆、外部講師、国の研究所が主催する会議への出席、国の研究所や大学との情報交換などによる人的ネットワークづくりなど、知見や人脈を広める活動も進めております。

また、依頼試験や設備使用、人材研修などに対応するためのスキルアップを図る活動もしております。

## ● いばらき研究開発推進事業への参画

産学官で取り組む研究事業に積極的に参画し、大学や企業とともに開発を進めています。

「中食」である市販弁当・持ち帰り惣菜喫食者の栄養・健康管理 IT システムの研究開発 (H18-H20)

高濃度オゾン水+エキシマ光併用による半導体レジスト洗浄システムの確立 (H20-H21)

## ● 企業との交流

当センターと企業との交流を深めるための活動を行っております。



### 御用聞き

各職員が企業の現場に積極的にお伺いし、当センターの事業紹介や企業ニーズの収集を行っております。(H19年度：1,426件)



### 出前発表

当センターの業務や成果について、業界総会などに出かけ「出前発表」を行っております。パネルを使った職員とのディスカッションなど、当センターの研究を知っていただけます。ご要望によりお伺いしますので、お問い合わせ下さい。(H19年度：4件)



### 業界懇談会

各業界の代表の方々と当センター職員とで、業界の将来について語ります。これにより、業界の活動や中長期的な計画を共有していきます。(H19年度：10件)

## ● その他

成果発表会やイベントを行っております。



### 成果発表会

2月中頃から3月中頃までの間に、工業技術センター、繊維指導所、窯業指導所の3箇所で、それぞれ、その年の成果・研究報告などを発表いたします。

### イベント

匠工房笠間フェア(窯業指導所)：春(4/29-5/5)・秋(10月開催)、繊維工業指導所フェア(秋11月開催)などのイベントを通して、ひとりでも多くの方にもものづくり楽しさを体験していただけたらと、行っております。

## 各機関へのアクセスとお問い合わせ -お気軽におたずね下さい-



●茨城県工業技術センター  
〒311-3195 茨城県東茨城郡茨城町長岡 3781-1  
**TEL : 029(293)7212 (代)**  
**FAX : 029(293)8029**



●繊維工業指導所  
〒307-0015 茨城県結城市鹿窪 189  
**TEL : 0296(33)4154**  
**FAX : 0296(33)2953**



●窯業指導所（匠工房笠間）  
〒309-1611 茨城県笠間市笠間 2346-3  
**TEL : 0296(72)0316 (代)**  
**FAX : 0296(72)3027**



茨城県商工労働部  
●いばらきサロン  
〒305-0047 茨城県つくば市千現 2-1-6  
つくば研究支援センター内  
**TEL : 029(858)6015 (代)**  
**FAX : 029(858)6017**



茨城県商工労働部産業技術課  
●茨城県デザインセンター  
〒312-0005 茨城県ひたちなか市新光町 38 番  
ひたちなかテクノセンター1階  
**TEL : 029(264)2205**  
**FAX : 029(264)2206**

- 本誌4～5ページ目には、各部門への直通連絡先を掲載しております。
- 最新の情報やお問い合わせはこちらまで。

・WEBサイト

**茨城県工業技術センター** → 検索  
<http://www.kougise.pref.ibaraki.jp/>

・電子メール

[renkei2@kougise.pref.ibaraki.jp](mailto:renkei2@kougise.pref.ibaraki.jp)

### 平成20年度の主な年間スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
共同研究問い合わせ先調査	共同研究採択		技術情報誌発送						技術情報誌発送	成果発表会	H21年度の受託・共同研究募集案内
技術相談、依頼試験、設備使用、人材育成、研究（各通年）								笠間後継者研修募集	結城後継者研修募集		
匠工房笠間フェア (4/29 - 5/5)						匠工房笠間フェア		繊維工業指導所フェア			